



三鷹国際交流フェスティバルにて広報活動



東京地方協力本部西東京地域事務所（所長 長谷川3陸尉）は9月22日、井の頭恩賜公園において開催された「第30回三鷹国際交流フェスティバル」に広報ブースを開設した。

これは公益社団法人三鷹国際交流協会が主催し、世界各国の料理や歌、踊り等の多文化・異文化を楽しみながら、国際交流と理解を促進する事を目的として毎年行われ、来場者が4万人にも及び都内でも屈指の国際交流イベントであり、三鷹市が後援するとともに、自衛隊のほか、警察、消防も協力している。

西東京地域事務所の広報ブースでは、三鷹市防衛協会及び募集相談員の協力を得て、制服等の試着や顔出しパネルによる写真撮影を行うとともに、自衛隊が各国で実施している国際平和協力活動の写真を展示し、統合幕僚学校国際平和協力センターの隊員が、その当時の活動内容等や体験談を紹介した。

来場者からは「自衛隊に入ってPKOに参加したいが、どうすればよいか」等、熱心な質問もあり、関心の高さがうかがえた。また、外国人からは「自衛隊に自衛隊が活動に来てくれた」と感激した様子で声を掛けられる場面もあり、自衛隊の海外での活動状況を見て、防衛省・自衛隊への関心を持つきっかけになったとの声が多く寄せられた。

西東京地域事務所は今後も様々なイベントに参加し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解を深めてもらえるよう広報活動を実施していくとしている。

葛飾区総合防災訓練における広報活動



東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 山本2陸尉）は9月29日、葛飾区役所周辺で開催された「令和元年度葛飾区総合防災訓練」において、広報活動を実施した。

この訓練は、大震災時における防災関係機関の災害対応活動と地域住民の自主防災活動を一体で実施することにより、機関相互の協力体制の確立及び区民の防災行動力強化等を目的としており、自衛隊のほか警察、消防等が協力して避難所開設訓練、医療救護訓練、物資搬送訓練、道路啓開訓練が行われた。

新小岩募集案内所が設置した広報ブースには、防災訓練に参加した東京消防庁本田消防署員や大勢の区民等が訪れ、東日本大震災や先般の台風15号に係る災害派遣時の写真パネルを見た来場者からは「災害派遣等で活躍している姿を見ると、本当に頼りになる」等、激励の言葉が多数聞かれ、東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」と一緒に記念撮影をする子供の姿も見られた。

新小岩募集案内所では、今後も地域に密着した広報活動を実施するとともに、自治体等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。